

藤沢市 避難確保計画チェックリスト（洪水・土砂・高潮）

記入例

※該当しない災害種別は削除してください。

第4版（2025年4月）

施設名	〇〇施設		
所在地	藤沢市朝日町1-1		
連絡先	(担当者)		
	(電 話)	(メー ル)	

提出にあたっては、セルフチェックをお願いします。

チェック項目	セルフ チェック	チェックがつかない 場合の理由
(ア) 防災体制、情報収集・伝達【様式2・様式3関係】		
◆防災情報（気象情報・避難情報等）の収集・伝達が記載されているか。	■	
◆誰がどうやって何の情報を収集し、誰にどうやって伝達するか明確に記載されているか。	■	
◆【警戒レベル3】高齢者等避難の発令で、避難行動をとることとなっているか。	■	
◆【警戒レベル3】高齢者等避難の発令がない場合でも、気象情報等から避難の判断ができるよう、複数の判断材料を設定しているか。	■	
(イ) 避難誘導【様式4関係】		
◆「近隣の安全な場所」への避難や「屋内の安全な場所」への避難等、緊急度合いに応じた複数の避難先が確保されているか。	■	
◆設定されている避難先（指定緊急避難場所（洪水・崖崩れ・高潮）、近隣の安全な場所、屋内の安全な場所）が利用者の移動に伴うリスクや避難にかかる時間等を踏まえた実効性のあるものになっているか。	■	
◆浸水想定区域や土砂災害警戒区域など、施設の災害リスク情報を踏まえた避難経路の設定となっているか。	■	
◆危険箇所を避難経路に設定していないか。（地下道、川沿い、がけの近く等）	■	
◆避難経路の途中に通行止め等の障害が発生する可能性を踏まえ、複数の避難経路を検討しているか。	■	
◆職員のみでの避難誘導に支障がある場合、地域の支援が得られるよう事前に調整されているか。	■	
(ウ) 避難の確保を図るための施設の整備【様式5関係】		
◆気象情報、避難情報等を入手するための資機材が記載されているか。	■	
◆夜間の避難を想定し、照明器具等の必要な資機材が記載されているか。	■	
◆施設内の一時避難に備え、その滞在を行う日数・人数分の食料・飲料数やその他の必要な資機材が記載されているか。	■	

チェック項目	セルフ チェック	チェックがつかない 場合の理由
(エ) 防災教育及び訓練の実施【様式5関係】		
◆洪水予報、土砂災害に関する情報等の避難に必要な情報を収集し、共有するため、機器の操作や作業に係る訓練（情報受伝達訓練）や、関連する教育の機会が設定されているか。	■	
◆利用者等（社会福祉施設の利用者・入居者、各種学校の児童・生徒、保育園・幼稚園の園児など）を避難場所まで安全に避難誘導するための訓練（避難誘導訓練）や、関連する教育の機会が設定されているか。	■	
◆水害や土砂災害の危険性が高まる出水期（6月1日から10月31日）までに施設職員の対応力が高まるよう、教育・訓練の時期が設定されているか。	■	
◆新規に採用された職員等が対応できるよう、その職員に対する教育・訓練の機会が設定されているか。	■	
(オ) 自衛水防組織の業務に関する事項（設置した場合のみ）【様式6関係】		
※該当する災害種別が【洪水又は高潮】の場合のみ		
◆自衛水防組織を統括する統括管理者が記載されているか。	☐	
◆情報収集及び伝達、利用者の避難誘導が自衛水防組織の業務として記載されているか。	☐	
◆班体制について、班長、班員が記載され、それぞれの任務が記載されているか。	☐	
◆自衛水防組織の構成員に対する、教育・訓練が上記（エ）に準じて設定されているか。	☐	
(カ) その他（計画提出にあたっての注意事項）		
◆（提出にあたり）施設利用者や職員の連絡先など個人情報（除外、黒塗り等）は削除しているか。 ※連絡網等の個人情報は提出不要です。	■	
(キ) 通信欄（任意） 市に連絡する事項等がありましたら記入してください。		

避難確保計画と併せて、必ずこの用紙を提出してください。

（事務処理欄）

災害対策課	関係課		